

令和2 (2020) 年10月25日 (日) ──。素晴らしい好天の下で 「R's Meeting 2020」 を開催することができた。
11年連続・通算13回目となる 「GT-Rの祭典」 はコロナ禍でのイベントということで従来とはスタイルを変えて実施。
本番を迎えるまでは不安だったが、今年もRを愛する同士の笑顔に触れることができ 「やってよかった」 と胸を撫で下ろした

文:野田航也/写真:木村博道





見事な富士山の姿に目を奪われる





愛車撮影会は400台の募集だったが、ブース出展が可能となったため、最終的に参加枠は360台に変更。当日は352台の歴代GT-Rが富士のイベント広場に集結した



今年のR's Meetingは「愛車撮影会SPL」と題し、事前エントリーの愛車撮影会のみを実施。検温や問診票の回収など、これまでにはない形式での受け付けとなった



例年の倍以上の台数ということもあり、今年はプロカメラマン8名による8班体制で撮影を実施。参加者の皆さんの協力により、スムーズに進行することができた



密を避けるため3班に分かれ時間差で入場。会場内はマスクの着用が必須で、参加者の皆さんには感染リスクを意識しながらコミュニケーションを取っていただいた





昨年は100近いブースが並んだが、今年はコロナ対策として出展数を12社に制限。 一般来場なしにも関わらず、ご協力いただいたことに感謝(ブース紹介はP74~)



今年はステージイベント中止ということもありゲストなしの予定だったが、R33/R34の商品主管を務めた渡邉衡三氏が愛車のBNR34で会場に駆けつけてくれた!



今年はステージがない代わりに「YouTube」でのライブ動画配信という新たな試みも。R35統括責任者の田村宏志氏を迎えてのスペシャルトークセッションも行った



毎年、イベントにエントリーしてくれた方々に記念Tシャツをプレゼント。今年は 初のカタカナ表記! ちなみにモデルは動画レポーターでお馴染みの佐藤 恵さん!



制約をご理解いただいた皆さまに感謝

さまにはご心配とご迷惑をお掛けし 待った結果であり、多くの読者の皆 てしまったことをお詫びしたい。 なった。開催の可否をギリギリまで 表」という前例のないアナウンスと 今年は7月1日に「公式HPでの発 表」、6月1日発売号で「エントリ 募集開始」という流れだったが、 主催者として「やる」と決めたか

らにはいろいろなことを動かす必要 があるが、常にコロナの感染状況に

らもぜひご覧いただきたい。

今年の経験を糧に来年も! 皆さんのおかげで無事開催

2020」が開催できるかどうか じつは昨年から「Rsミーティング ック/パラリンピックは2021年 だった。ご存知の通り、新型コロナ ラリンピック」の自転車競技に使用 富士スピードウェイ」は、第一回の **小透明な状況が続いていたのだ。** に延期との決定がなされているが ウイルス感染拡大のため、オリンピ ント等での使用が不可、となるはず されるため、6月~9月末までイベ は会場の『富士スピードウェイ』が 月」に開催してきた。しかし、今年 半成18 (2006) 年から毎年「9 「2020 東京オリンピック/パ 本誌主催「Rsミーティング .n

の開催日程は早めに出ていたものの、 切れないでいた。 なかなかイベントの開催告知に踏み い状況に。「10月25日」 という今年 **新型コロナウイルスのパンデミック** してくださった。だが、2月以降の ミーティングの開催日の調整に尽力 ケジュールが確定した年初からRS る富士スピードウェイは、レースス により、先の状況がまったく見えな いうスタンスで協力をいただいてい そんな中、本誌と「共同開催」と

例年は4月1日発売号で「日程発

なってしまったにも関わらず、誰一 け方法としたため、待ち時間が長く き飛んだ。いつもとは異なる受け付 参加者の皆さんの笑顔ですべてが吹 う。だが、早朝から富士に来場した で胸がいっぱいになっていたであろ め、多くのスタッフは不安な気持ち らない。イベント運営事務局をはじ やシミュレーションを重ねながらも からないまま模索する日々が過ぎた。 気を配る必要があり、何が正解かわ 本番を迎えるまでは何があるかわか 人としてクレームを付ける方はいな 10月25日(日)。 さまざまな検討

「GT-R乗りはマナーがいい」

ら。あらためて感謝したい。 GT-Rファンが集うイベントだか 催できる」と判断したのも、そんな 各方面からそういった声を多く頂戴 した。本当にうれしい限りだ。「開 Rsミーティングを開催して以降

断腸の思いであった。 をモットーに開催してきただけに、 きならば誰でも楽しめるイベント 録。参加者のみならず、「GT-R好 名を超える過去最高の来場者数を記 け入れを断念した。昨年は7000 こともあり、今回は一般来場者の受 コロナ禍での初めての催しという

ではどうするか、今年の経験をもと うせざるを得なかったことをご容赦 に再考したいと思っている。 いただくとともに、今後のイベント とはいえ、感染拡大を防ぐにはそ

でも動画を公開しているので、そち ネル (79ページにQRコードあり) ILE X』でも展開。さらに、前述 本誌別冊『GT-R OWNERS F か、20年12月21日 (月) 発売予定の した本誌の公式ユーチューブチャン なお、イベントの模様は今号のほ



Magazine FUJI SPEEDWAY

R's Meeting 2020 in 富士スピードウェイ

限られた状況でメーカー&ショップが集結

いつでも"Rの輪"は繋がる

当初は愛車撮影会のみの予定だった 「R's Meeting 2020」。 急きょ会場との話し合いでブース出展も制限ありでOKに。参加者のみで観覧者なし。 それでもユーザーとメーカー/ショップが交流する場として温かい空気が流れていた

写真:佐藤 圭





RB26用のタービンキット。GTⅢ-SS /GTⅢ-2530/GTⅢ-RSがあり、価 格は35万~39万8000円となっている



純正比では最大で約1.5倍の2次電圧を 誇り、耐久性や見た目の美しさにも拘 る。R32/R33/R34用を設定



展示する試作は溶接だが市販モデルは 曲げとなる予定。R32/R33/R34用 で重量はステンレスの半分となる

エッチ・ケー・エス

☎0544 · 29 · 1235 https://www.hks-power.co.jp

2.80仕様コンプリートを初お披露目!

R35と第2世代Rのいずれにも力を入れ、精力的にパーツを開発し続ける HKS。今回の目玉は2.8 ℓ 仕様のRB26コンプリートエンジンだ。すでに GT-Rマガジンの誌面では紹介しているが、実物を一般公開するのはこの イベントが初めてとなった。200ccの余裕に加えレブリミットは9,000rpm まで引き上げた。HKSのノウハウを凝縮したパーツをふんだんに使うことで、速さと扱いやすさと耐久性も兼ね備えている。ほかにも高回転域に おける失火を防ぐ [ス-パーファイヤー・レーシングコイルプロ] や、超軽量がウリの [ス-パーターボマフラーTi] なども展示した



コンプリートエンジンはスタンダードな「ステップ2」と、 専用クランクシャフトなどを採用する「ハイレスポンス」 の二つを設定。価格は375万~570万円となっている

下まわりはノンクロムプライマー/サ フェーサー/2液性ウレタンコーディ ングで防サビ処理を施している



ドアパネルも分解した上でペイント。 要望があればインテリアのリメイクに も対応してくれるとのことだ



当然ながらエンジンルームの奥、フレームの裏側まで同色に塗装する。見た目は新車以上の仕上がり

ガレージョシダ

☎0747 • 58 • 8585 http://www.garage-yoshida.net

"ハコ替え"を考えたくなる究極のボディ登場

手軽なリペアからフルレストアまで、熟練の技術でGT-R乗りを応援するガレージョシダ。今回のブースではオリジナル "パーツ" として、新車のように仕上げたR32のボディを展示した。寸法を出したうえ純正色にオールペン、当然ながらサビも落とした状態で販売するという。初期モデルは製造から30年を超え、腐食が深刻になっているケースも少なくない。少しずつ補修する手間と時間を考えるなら、ボディをそっくり交換したほうが早いし、フロアやフレームの奥まで塗装できて一石二鳥だろう。価格は300万円~。オプションで補強などのオーダーも可能とのこと



展示したボディはCODEのサフェーサーを塗った上で、AH3 改のレッドパールにオールペン済み。美しい色に仕上がった新 車同様のボディはこの先長く乗りたい方は注目である





より高い強度を求めアップデートした R32用リヤタワーバー。アルミ削り出 しと溶接により成型しているもの



強度はノーマル以上で40%以上も軽量化した、R32/R33/R34用カーボンプロペラシャフトも注目の的



中央にダクトを一つ設けたオーソドックスなデザイン。もっとも復活を望む声が多かったアイテムなのだ

Kansaiサービス

☎0743 · 84 · 0126 ☎https://www.kansaisv.co.jp

人気アイテムが続々復活で今後も期待大!

人気が衰る気配のない第2世代GT-Rに向け、以前リリースしていたパーツの復刻にも力を入れるKansaiサービス。とくに問い合わせが多いのはボンネットだという。そこでシンプルな形状を望む要望に応え、材質をFRPからカーボンに変更した上で再販した。同じシンプル路線としてサイドステップ、リヤアンダースポイラーも根強い人気で、純正+αのスタイルを好むユーザーが増えたと向井敏之代表は語る。R35で人気が高いオリジナルパーツは、12Jのホイールが収まる片側20mmのワイドフェンダー、カーボン製で精悍な顔立ちに変身するフロントグリルなどだ



ノーマルのスタイリングを崩さず、シッカリと差別化するデザインはさすが。サイドステップは純正に被せるだけのタイプで、 リヤアンダーは純正と変わらない地上高を確保する



クラフトスポーツは限定ホイールである『BBS RI-A Engineered by NISMO』の販売店にもなっている



ホイールの傷やキャリパーの熱による 変色もなく、新車と言われても信じて しまうレベルの美しさを維持している



専用パーツを満載したN1仕様のエンジン。フルノーマルの美しい状態で、 奇跡とも言うべき1台なのである

CRAFT SPORTS

₹027 • 265 • 3388 http://www.craftsports.co.ir

超希少なR34 V-specII Nürに感嘆の声多数!

中古車の販売や買い取りからメンテナンスまで、GT-Rに関わるすべてをサポートする専門店。毎年ブースでは誰もがビックリする上質なGT-Rを展示しているが、今回は走行距離がなんと4,652kmのBNR34 V-spec II Nürを持ち込み、集まったギャラリーの度肝を抜いていたのが印象的だ。しかもワンオーナーの禁煙車でガレージ保管、フルノーマルとコンディションも言うことナシ。このR34については販売は今のところ考えていないらしく、ショールームにて保管するとのことだ。たとえ買うことはできないとしても、GT-Rファンなら一見の価値はあるに違いない!



中古車の相場は2,500万円を超えるともいわれる、超プレミアムなR34 V-spec II Nur。ましてや走行距離が5,000km以下ともなれば、その市場価値は推して知るべしだろう

WITH Sheet autone in



エンジンはHKSのGTⅢ-SSタービン にステップ1カム、FコンVプロでセッ ティングし550psを発揮している



コチラは10mmのノーマルVer。サーキットVerとの中間にあたる、ストリートVerの出幅は28mmの設定だ



リップ部分を最大で50mm前方に出したサーキットVer。ダンフォースを稼ぎ高速安定性がアップするとのこと

GLOBAL AUTO

☎072 · 363 · 6666 https://www.global-auto.ne.jp

レア車販売だけでなくオリジナルパーツも充実

ユーザーの愛情と拘りが詰まったチューニング済みのGT-Rや、NISMO 400RにZ-tuneといった超希少モデルの取り扱いで知られるグローバルオート。今回は2台のR34 V-spec II Nürを展示した。車両はもちろんのこと注目したいのは装着しているオリジナルパーツだ。空力とデザインを突き詰めた「フロントディフューザー」で、ユーザー撮影会に集まった車両への装着率も高かったようだ。材質はFRP/カーボンFRP/フルカーボン/ハードカーボンの4種類があり、リップ部分の出幅を3段階に調整することでストリートからサーキットまで対応するという工夫も!



見た目のカッコよさは当然として、エンジンルームへ風を送り 込むエアガイドを装備したり、ドレンボルトへのアクセスを容 易にするサービスホールなど機能性や整備性も高いのがウリ

ブースではリザーブタンクやオイルキャッチタンクなど、走りに欠かせない オリジナルパーツも展示していた



OZレーシングとのコラボで製作した ホイールを装着していた。セラミック ポリッシュの人気がとくに高いそうだ



エンジンは通勤に使っているだけあり、 極端なパワーを求めずブーストアップ の600psに抑えているのが永田代表流

トップシークレット

☎043 · 216 · 8808 https://topsecret-jpn.com

自らもオーナーだから完成した珠玉アイテム

トップシークレットでは永田和彦代表の愛車を展示して注目を浴びた。今回の目玉はオーディオやエアコンのパネル脇に装着した、まだ名前も決まっていないカーボン製パーツだ。純正が割れやすく交換はダッシュボード全体となり、莫大なコストがかかるのが難点だという。「自分が欲しくて作ったら意外に反響が大きくてビックリ。希望ですが3万円くらいで販売できるようにしたいです」とのこと。純正シートをベースにした生地の張り替えも手掛けており、素材やステッチの色を自由に選べて費用は20~25万円。ヤレたコクピットのリフレッシュを兼ねた模様替えにピッタリだ!



以前から頭を悩まされていた純正パネルの割れに対し、永田さんがオーナーならではの目線で出した解決法だ。スチーリン・チーリスを表していまったく損なれず室内がレーシーな雰囲気に





トランクに装着した小振りなカーボン 製ウイングで、必要にして十分なダウ ンフォースを発生させているのだ



カーボン製のリヤフェンダーで8mmの ワイド化を実現。325/25R21のラジア ルタイヤをスマートに履いている



ボンネットの素材は一般的なカーボンに加え、さらなる軽さと高い剛性を実現した「VSDC」も設定している

VARIS

☎042 • 689 • 2939 http://varis.co.ip

超速サーキット仕様のノウハウをストリートへ

サーキットのタイムアタックで揺るぎない実績を持つKAMIKAZE号からのデータをフィードバックしつつストリートに映えるデザインに拘った、GT-Rらしい高級感が魅力のエアロ「マグナムオーパス」。純正のシルエットを崩すことなく、ダウンフォースと冷却性能を高めているのは、エアロパーツの名手バリスならではの手腕だろう。とくに拘ったのはフロントまわりの造形とのこと。リップ部分やカナードでフロントタイヤを地面に押し付けると同時に、バンパーに内蔵された導風版によってオイルクーラーとDCTクーラーに風を当てるよう設計されている



ストリート向けエアロの最高峰と謳う「マグナムオーパス」シ リーズ。取り付けの精度やサイズ感も妥協なく追求したうえで、 バリスの空力に関するノウハウも詰め込まれている



タイムアタック で絶大な人気を 誇る、フージャ ーのDOTラジ アルを履く。サ イズは前後305 /30R20だ





RH9のチタンマフラーは径が100φ、 排気効率や軽さだけじゃなく、サウン ドや美観も一級品となっている



オリジナルのエアロパーツを中心に、 バリスとHKSテクニカルファクトリ ーを組み合わせて空力性能アップ

フェニックスパワー福井店・京都店

福井店☎0776·67·2980 京都店☎0774·48·1157 http://www.phoenixs.co.jp/phoenixs/

鈴鹿アタックを見据えた最新仕様がお目見え

鈴鹿サーキットでのタイムアタックを見据えて、細部まで作り込んだR35を展示したフェニックスパワー。エンジン本体は昨シーズンまでの 3.8ℓ から 4.3ℓ に排気量アップしている。タービンは信頼性の高いTD06SH-25Gをチョイスしている。以前の仕様とピークパワーはさほど変わらないが、プラス500ccの余裕あるトルクで扱いやすさは格段に向上したという。12月に鈴鹿で開催するRH9のイベントに向け、足まわりや空力のセッティングを煮詰めていく。業界を牽引するプロショップの一つが手掛けたGT-R。果たしてどんなタイムを記録するか気になるのだ



エンジンは1,055.78ps & 127.69kgm。排気量が3.8 ℓ のときはブースト2kg/c㎡だったが、4.3 ℓ 仕様は1.8kg/c㎡で同じパワーを発揮している。オイルクーラーもツインで装着済み

TO THE TOTAL CONTROL OF THE PARTY OF THE PAR

サイドブレーキ はノブがレザー でブーツがアル カンターラ。奥 に見えるシフト ノブはチタン製



独自のデザインでフロントまわりの剛性が向上し、重量増も最小限に抑える チタン製のタワーバーも人気アイテム



張り替える生地はアルカンターラとレザー。ステアリングのステッチはグレーとレッドから選択可能となっている

Mine's

☎046 · 857 · 3313 http://www.mines-wave.com

室内を中心としたオリジナルアイテムに注目!

マインズではリフレッシュを望む声が多いR34に向け、インテリア用のオリジナルパーツを数多く展示していた。ドアの内張りやステアリング、サイドブレーキカバーなど素材から拘った逸品だらけだ。カーボンのMFDカバーは艶やかで高級感あるグロスタイプと、シックな雰囲気のマットタイプから好みで選択できるのもうれしい。またエクステリアでは数年前から廃番となっていた、カーボン製のリヤウイングやトランクスポイラーを再販。昨年リリースしたドアミラーおよびルームミラーもカーボンで、エアロパーツと合わせてコーディネイトするのもオススメである



ー生の相棒として乗り続けたいオーナーにとっては、純正パーツが手に入りにくくなってきたR34だけに、華やかな雰囲気にもなるマインズのパーツは非常にありがたい存在だろう

POKOHAMA RES HIGHERY HIGHMAN RES HIGHERY

コンケイプ形状 で差別化を図る レーシングGT ビヨンド。写真 上がコンケイプ 4で写真下がコ ンケイブ5だ





金型鍛造製法を採用したR6。大口径 ホイールに求められる、すべての要求 を満たすための選択だったという



現時点では225/50R16がリヤの適正サイズとなっているが、255/45R16を望む声は以前から多かったそうだ

YOKOHAMA

■0120 • 667 • 520 https://www.y-yokohama.com

箱スカ世代垂涎のタイヤや最新ホイールを展示

サーキットからストリートまで、GT-Rの走りを支える横浜ゴム。2017年に復刻した『アドバンHFタイプD』に、待望の255/45R16を参考出品ながら展示。第1世代のオーナーから注目を浴びていた。ローダウンと10Jのホイールとは相性がバツグンで、ほかにも15サイズ以上を追加ラインアップする計画だという。ホイールでは5種類のスポークコンケイブ形状を設定した、新発売の「アドバン・レーシングGTビヨンド」を筆頭にディープリムと細身の6本スポークが特徴の「アドバンレーシングR6」などGT-Rオーナーから人気のモデルが勢揃い。幅広いユーザーが注目していたのだ



81年に発売され多く のユーザーに愛された タイヤの復刻版。クラ シカルなデザインはそ のまま引き継ぎながら、 性能面は最新のテクノ ロジーによってアップ デートされているのだ



SNSの人気キャンパーが愛用することで大ヒットしたという、GT-Rのロゴが焼けるホットサンドメーカー





家庭に一つは欲しいロゴが浮き出る醤油皿。丸型にはGT-Rのロゴ、そして横長型にはNISMOのロゴが刻まれる



型式など関連する文字を組み合わせ、 GT-Rのロゴを作り上げる『ジザイク』 コンセプトのTシャツも人気が高い

ワキプリントピア

http://www.printpia.co.jp

思わず笑みがこぼれるアイテムをお土産に

もともとは年賀状の印刷などをメインの業務としていたが、GT-R誕生50周年を機にクルマ関連グッズの製作をスタート。「生活のなかにあるGT-Rの彩り」をテーマに、アパレルや食器や文具といった数々のアイテムを展開している。ラインアップしている商品はすべて日産から公認を受けており、万年筆のインクはGT-R純正のボディカラーにするなど、単にロゴやイラストを配しただけのグッズとは、ひと味もふた味も違うのがポイントだ。価格も気軽に購入できるモノが大半なので、自分用はモチロン会場に来られなかった仲間へのお土産としてブースは終日大人気だった



万年筆のインクは3色 を用意。ガングレーメ タリック/ミッドナイ トバーブル/ベイサイ ドブルーと、GT-Rフ ァンならお馴染みのカ ラーで日産の公認だけ あってリアルならい

■0120 · 315 · 232 https://www.nissan.co.jp

R35NISMOから発売前の アリアまで百花繚乱

究極のR35とも言えるNISMOやプレミアムエディションを始め、 日産としては初のクロスオーバーEVとなる'21年に登場予定のアリ アや、コンパクトSUVのキックスなど、話題のモデルが勢揃いした。 車両価格が2,000万円を軽く超えるNISMOは、実物を見るチャンス すら限られる憧れの存在だ。カーボンセラミックブレーキやドライ カーボンルーフなど、レーシングカー顔負けの軽量化が施され、標 準車に比べて約30kgものダイエットに成功している。さらに後方で はそれらのパーツを実際に持ち上げて、軽さを実感できるスペース も用意。デビューから13年を迎えてもまだまだ進化し続けるGT-R、 今後もあらゆるモータースポーツのステージでの活躍に期待!







領波サーキットで市販車最速を記録した 当時のカラーリングで登場したR35 NISMOはオーラ満点で注目された



力強い加速に近未来的な内外装のデザイ ン。発売前から注目度の高いアリアも展 示し、ユーザーの関心度も高かった



MY20から追加されたワンガンブルーを 纏うプレミアムエディションを展示。爽 やかな佇まいで当日の青空にマッチした



日産の最新技術e-POWERを搭載した、 コンパクトなクロスオーバーSUVのキ ックスもセカンドカーに最適だ

GT-R Magazine

お馴染み3台とオリジナルアイテムをご覧あれ

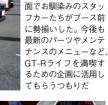
GT-RマガジンのブースではデモカーであるR32/R34/R35を展示。さ らにバックナンバーをはじめとする刊行物や、オリジナルのグッズ販売な どを行った。猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で例年と異なる形で の開催となったが、愛車撮影会を終えたオーナーの多くに足を運んでもら った。来年の今ごろは日本だけではなく世界が平穏さを取り戻し、一人で も多くの読者と交流してGT-R談義で盛り上がれることを祈るばかりだ







GT-Rマガジンやパーフェクトブッ クのバックナンバー、復刻版のムッ スマートフォン用クリップなど、オ クや写真集をその場で販売した リジナルのグッズも多数展示&販売



R32/R34/R35と誌



シフトノブ&ブーツにサンバイザー、 R35用のステアリングを先行発売。 アルカンターラ&ナッパレザーで 358φのオリジナルデザインとなる